明治四十一年十二月十三日第三種郵便物認可　（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年三月廿五日（木曜日）　第六十六號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城居留民團公文

●京城居留民團規則第七號
明治四十年京城居留民團規則第五號京城居留民團立漢城病院諸料金徴收規則左之通改正明治四十二年四月一日ヨリ施行ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ
明治四十二年三月二十二日
京城居留民團民長　熊谷頼太郎

第一條　病院ノ諸料金ハ本則ニ依リ徴收ス
第二條　諸料金ノ額ヲ定ムルコト左ノ如シ

名稱	單位	金額
水丸散薬	各一劑（一日分）	金十五錢
頓服薬	一劑（一回分）	金十五錢
舐薬	一劑（一〇、〇）	金十五錢
洗滌薬・含嗽薬・溫布薬	一劑（三五〇、〇）	金十五錢
罨法薬	一劑（三〇〇、〇）	金十五錢
點眼薬	一劑（七、〇〇）	金十五錢
撒布薬	一劑（五、〇〇）	金十五錢
浣腸薬	一劑（一回分）	金十五錢
高價薬	一劑ニ付	金五錢増加
塗布薬	一劑（一〇、〇）	金十五錢
手術料	一回	金一圓以上
皮下注射	同	金三十錢
電氣療法	同	金五十錢
各科處置料	同	金十錢以上
檢査料	同	金五十錢以上
瓶代	一個	金三錢以上
繃帶材料	一回	金五錢以上
血清注射	同	金二圓以上
種痘	同	金二十五錢
簡單ナル診斷書、證明書、又ハ檢案書	一通	金五十錢
詳細ナル診斷書、證明書	一通	金三圓以上
鑑定書	一通	金五圓以上
處方箋	同	金一圓
診察券（初診一回限リ）	一枚	金三十錢
入院料　一等室	一日	金四圓
二等室	一日	金二圓五十錢
三等室	一日	金一圓五十錢
四等室	一日	金一圓
普通隔離室	一日	金二圓
特別隔離室	一日	金三圓
入院患者付添人食料	一日	金五十錢

第三條　入院料及食料ハ前納トシ毎一週間分ヲ徴收ス其他ノ諸料金ハ總テ即納トス
第四條　入院ノ際ハ身元保證人ヲ立テ入院料其他諸料金ニ不足ヲ生スルトキハ身元保證人ヲシテ納付セシムルモノトス
第五條　民團地域内ニシテ往診ヲ求ムルモノアルトキハ車馬賃ヲ徴收スルコトアルヘシ
第六條　民團地域外ヘ往診ヲ求ムルモノアルトキハ左ノ區別ニ依リ往診料ヲ徴收ス

往診料
院長　一日金三十圓
副院長、部長、主任　一日金二十圓
醫員　一日金十五圓

第七條　前條往診料ハ午后出發スルモ午前ヨリ着スルモ各一日分ニ計上ス
第八條　往診者ノ旅費、宿泊料、雜費等ハ總テ依頼者ノ負擔トス
第九條　諸料金延納又ハ減免ヲ請フモノアルトキハ民長ハ其事實情況ヲ調査ノ上之ヲ許可スルコトアル可シ

●登記濟通知書の廢止

從來郵便貯金の預け入れあるときは郵便貯金規則に依り貯金登記濟通知書を發送せられしも元來郵便貯金の預け入れは貯金通帳を以て證とするものに付通知書は貯金の成立に何等の關係なく又預け人も之に注意を置くもの稀なる狀況なれば殆んど無用の手數を爲しつゝあるに過ぎず且郵便貯金に付ては通信官署に於て特に取締りを嚴重にして決して秘密の漏れざるやうに取扱ひ居ること故預け人が貯金し居るや否は勿論預け金高等は他の者が知ることを得ざるものなれど登記濟通知書の爲めに往々他人に貯金の有ることを知られ自然之れを厭ふ預け人もある等に依り來る四月一日以後の預け入れに對しては是迄の如く登記濟通知書を發送せぬこととなり隨つて郵便切手貯金臺紙も返戻されぬことになりたれば預け人は誤解をせぬように心得置かるべし尤も切手貯金臺紙は韓文通帳にて預け入れたるものに限り統監府通信管理局より特に其の切手臺紙を預け人へ還付せらるゝ由なり

文苑

●一簑一笠　青楓

甲板を下りて、寢所に歸る。忽ち起る……騒々たる百雷の響……それは、海神の荒びて、怒濤の吼ゆる聲にてありき。今ぞ、船の動搖ますます烈しくなりぬ。人の呻く聲よ、ボーイを呼ぶ顫聲よ、洗面器と叫ぶ苦しそうな聲よ、アヽ此の三等室見る見る中に慘憺たる巷となれり。船は、軈て朝鮮海に入る、朦朧かなる海よ、波靜かなる海よ、アヽ美はしき哉海上の日の出よ。海を隔てゝ、霧中に見ゆる山と山、ボーイに問へば、釜山なりと云ふ、余は始めて船の釜山に近づけるを知りしなり、人もわれも、漸く生氣に返りて、上陸準備に忙はし。彼方、釜山の棧橋を左に見て、船は、間もなく草梁に着く、其處より、小蒸汽船に搭じて、無事上陸を了へぬ。さらばよ、對馬丸、余は汝の健康を祈る。

（新刊紹介）

●滿韓之實業●　會旨欄に於ける「北米移民の成功者は滿韓に移住せよ」は確に本號の白眉なりとす其他名家叢談、論說講話等讀むべきもの尠なからず（第四十二號見本一部金二十五錢釜山港辨天町一丁目五番地滿韓實業協會發行）

●日本少年●　大隈伯の「冒險とは何ぞや」新渡戸博士の「冒險を好む少年に予の希望する二大要件」石塚月亭氏の「死を決して富士山を下る」等は再讀に値す（第四卷第四號一部定價金十錢東京市京橋區南紺屋町十二番地實業之日本社發行）

●大阪佛教●　「日本に於ける●リスト教の運命」「佛教と自然主義」の二大論文あり佛教徒の爲めに氣を吐くこと虹の如し（第二年第三號一部金十錢大阪府下東成郡喜連大阪佛教社發行）

●芳譚●　第二年第三號（一部金五錢東京下谷區徒士町三の七十番地芳譚社）

●警察月報●　第七號依例法令、例規、日本國法令等を載す（内部警務局發行）

佐倉宗吾　（卅七）

眞龍齋貞水講演

「宜しうございます、それぢや御暇いたします……」私は今日は、旦那様の御名代で

ごせねますから、御城中へ往つて、酒でもウンと飲みます」と、是れから儀右衛門は自家へ歸つて支度をして御城中へ出ることに成りました、誠に宗五郎の先見は明らかなものでございます、此儀右衛門を使つたために宗五郎だけは、役人のため欺かれなかつた、人を使ふと云ふ事はなかなかむつかしいもので一說に申す通り、馬鹿と挾刀はひ使やうと謂ふ位、どんな人間が馬鹿でも、使ふ人が偉ければ、怜悧に使へる、徳川家康公が、太閤秀吉公の御前廷へ、村越茂助（前名村岡三十郎）と謂ふ者を、御遣はしに成つた事がある、此人は無學ではありますが、槍を執つて戰場へ進む時は、官

御膳を頂戴してゐると、鼻の頭へ、御膳粒がチョッと一つ附着いた、それを知らずに御膳を食べてゐながら、御給仕をしてゐた松平加賀守の御家來が笑つた、大きな聲で笑つたのではない、クスッと笑つたのだが、ヒョイッと氣が注いたから見ると、鼻の頭へ御膳粒が附着いてゐる、ハヽア、之を笑はれたなアと思つたが、主人の使者に來て加賀守様御家來に笑はれたとあつては耻辱どうか耻辱に成らぬやうに、御膳粒を取りたいものと考へてゐる、加賀守御家來は、今に彼の御膳粒を取るか知らぬ、今に取るか知らぬと思つて見てゐるが、なかなか取らぬ、御膳を戴いて仕舞つても取らぬ、た

に忠義の二字を頭に置いて敵に對うから、敵も有繁恐怖をなす程の武勇でございましたが、身體は其處彼處と疵だらけ、其人が大阪城中の太閤殿下秀吉公の御前懇にて、鎌倉白旗大明神へ、一萬石の寄附と云ふのを、千石に掛合を遂げて立戻りました、其時に、何うも家康公は、人を視て御使ひなさる、其御苦心と云ふものは、廣大にして頭の位だか知れぬと人みな感心を致しました、併し又、その御使ひを勸める者も、むつかしい者でございます、松平越前守の御家來、北村貞之進と謂ふ人が、松平加賀守様御晃數へ御使者に參りました、恰度晝時分に成つて、御飯を下し置かれたから、

茶を喫んで御膳部を下げて仕舞つたが、未だ取らぬ、ハテナ、まだ氣が注かぬか知らぬと思つてゐると、北村「甚だ恐れ入つたが、料紙硯筥御拜借をしたい」と云ふから、委細承知と、貸して下さつた、すると書面を認めて、其書面を封じて、其端を鬚乎と附着けた、而して鼻の頭の御膳粒を取つて、其御家來は、恐ろしい剛情な奴イヤ加賀守の御家來は、恐ろしい剛情な奴だと驚いた、此飯粒を取るに、餘程苦心して考へたものと見ゆます、何も手紙を封じるに、鼻に附着いた飯粒を取るに及ばぬが扱て笑はれて見ると、それ程使ひに往つた者は主人の耻辱に成らぬ樣に苦心する仲々使ふ者、使はるゝ者、いづれにしても離か

しいものでございます、是とは事かはりまして話だが、宗五郎殿が、此儀右衛門と謂ふ少し足りない者を使はす事に成つたのは余程前途を考へましたのでありまする、愈よ儀右衛門は、羽織袴で御城中へ出ると、孰れも二百六十有余箇村の名主、殘らず出まして控へて居ります、皆なそれぞれ近親中に對つて小聲で　○「此度ハア御目出度で御酒下賜でごせねますす　●「然うでごせねます　△「能くマア御出なせいました、千葉村どん、御機嫌宜しう　千「エー是は小原村どんでがすか」なんかんと、皆な挨拶してゐると、ズット向うの襖が開いて、一同の者こちらへと御案内「ハア、御免下せいまし」と、孰れも恐々ながら、それぞれ席を極めて下さる、一同うれへ差控へました所へ、牧尾越後が出ましての牧「是は御一同名主ハア、御免下せいまし」と、一同謹んで御禮をする

（佐倉城外將門山）

京城龍山は韓國の中心なり此中心に在つて半島經營の重任に當らるゝ紳士の紹介を爲すは本書なり

京城理事廳認可

豫約募集

京城龍山紳士錄

定價　豫約特價前金壹部　金參圓
申込締切期日　五月十日
逐本期日　六月十五日
登載事項　政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、教會、寺院、協會、倶樂部、組合

表紙總クロース金文字入

本紳士錄（交詢社式）には京城龍山在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全體を網羅致候へば公私實務者の坐右に欠くべからざるものに有之候

豫約申込所
發行所　京城新報社
本町二丁目　日韓書房
新王城前　盛文堂
北署安洞　大韓書林
中署廣橋東邊　滙東書館
中署龍□橋越邊　中央書館

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
辯護士　岡田榮
京城旭町一丁目六十七番戸（電話三九八番）

代書部
新狀諸願屆申請書類調製
定款規約書等作成
登記登錄證明願手續
外國旅券出願代辨
官地貸拂下出願代辨
諸工事殖林等設計
土地建物礦山測量製圖

紹介部
田畑宅地礦山賣買貸借仲介
電話株券等讓渡仲介
船舶其他大物品賣買仲介
金錢貸借仲介
債券證券類賣買仲介
諸大家揮毫紹介
諸外國語通辨並飜譯

本事務所は誠實を旨とし堅く秘密を守り費用は時節柄低廉にし依托事件を迅速に成効せしむることを期す
京城本町一丁目（民團役所筋向）
佐々木事務所

公債　貯蓄　勸業
債券讓受
御不用の御方は各號共精々高價買受くべく候
京城長谷川町二丁目富田屋内　館七三二齋

▲ガシ一・ブドウ酒・ブランデイー・洋菓子・菓物カン詰類
シレット・シャンピン・ウヰスキー・キリンビール・タンサン水
卸小賣　洋酒食料品・雜貨
直輸入商
辻屋
京城本町二丁目　本店　電話二四八番
同三丁目　支店　電話三六六番

제66호 1909. 3. 25.

美術半襟帯上其他組類各種
ゑり德商店

京城新報

清商對韓商

日清及日露の戰役により韓國に於ける淸國商人の勢力は頓に減退し、此反比例に日本商人の勢力は一時俄然として隆昌を來たしたるが如き觀ありしも、淸國商人の特有なる勤勉力行は徐々として其勢力を回復せるのみならず、輓近に至りては捲土重來の勢ひ當る可らざるものあり、さしも勢力旺盛なりし日本商人も瞠若たるに至れり、而して日淸兩商の商賈振りを見るに日本商人は居常政治上の力を藉りて隆昌を期せんとするの傾あり、淸商は之に反して勤勉力行を信條として營々たり、日本商人が戰勝の餘威を藉りて榮華を見つゝある間に淸國商人得意の節約と躬行とにより其地盤を開拓し、知らぬ間に韓國に於ける商業上の覇權を握らんとするの勢ひを示し來れり、日本商人たるもの須らく猛省せざる可らずとは昨秋に於て余輩の警告したる所なりき、然るに俄然に於て此拔目なき淸國商人間に一の恐慌起り來る何の爲に彼等の間に恐慌は起り來りし乎、其恐慌の原因は本國に於ける銀貨相場の昂低に依りて物價に變動を起し、此影響を避る爲には所持の商品を一時に賣拂かざる可らず、之が爲に盛に韓商に對して延取引をなしたる結果資金の回轉を杜絶するに至れり、元來淸國商人が韓國に於ける取引は槪して延取引を主とするものなり、然るに舊年に於て特に恐慌を起したるは韓國經濟界の不振と本國の銀貨相場昂低の影響を受けて過度の延取引をなしたる結果に外ならず、然るを淸國商人等は之が救濟法として爾來韓商との延取引を廢止するの決議をなし馬總領事の認可を得たりとか、或は總領事が命令して之を決議せしめたりともいふ、其何れが眞なるやを知らずと雖も、要するに今次の恐慌は淸商間の大打擊たるや必せり、然らざれば商業上に於ては居常沈着なる淸商にして斯く狼狽するの謂はれなし、殊に韓國の商業は槪して延取引に非ざれば行はれず、淸商の韓商に對する强味は此延取引にあり、若し夫れ淸商にして延取引を絶對に廢すれば韓商との取引は絶對に杜絶すると云ふも可なり、之を知りつゝ淸商が延取引廢止を決議するに至りては其狼狽も甚だしと云ふべし、果せる哉今や彼等は自己の立場を自覺して信用ある向きに對しては既に延取引を開始せりと云ふ、之れ當然の結果のみ、畢竟するに恐慌の起りたる原因は過度の貸賣と經濟界の不振とに因るものなり、之を以て韓國の商業に從事するものは能く經濟界の狀態を明にして過度の延取引に戒愼する所なかる可らず、淸國商人の恐慌來は好個の殷鑑に非ずや、堅實なる商業取引を墨守する淸商に

して此誤あり、余輩は日本商人に對して斯る錯誤なからんことを今に於て警告するものなり。

東京電報

▲橫貫鐵道上院採擇 韓國橫貫鐵道速成に關する請願今日貴族院にて採擇さる（二十三日發）

外報一束

▲近東問題列國會議 英國下院に於て外務大臣グレー氏はボスニア問題の質問に答辯して曰く英國政府の意見は終始一なり列國會議を開くの前各緊爭點に付先づ列國の同意を得置くを必要とすると即ち是なり商議は今尙進行中也と

▲英政府の譴責案 海軍問題に關し英國政府の議會に對して不滿足なる答辯をなしたる結果として統一黨首領バルフォアー氏は政府譴責案提出の通知を發したり氏は該案にれいて政府の最新艦型の戰艦建造に對する準備は英帝國の安全を保障するに不充分なるものなりと宣言せり

▲濠洲の軍艦寄附 メルボルンの濠洲政府は濠洲が一隻のドレッドノート型戰艦を建造して大英國に寄附すべき意向あることを暗示せり

▲無政府的の波斯 波斯國目下の事態は依然として無政府的狀態を持續しつゝあり波斯皇帝は今尙憲法を拒絶し且彼は自己の權力を保持するため其全力を傾注しつゝありと語れり

▲土國の對日感謝 土耳其國半官報は其紙上にれいて本國は恐らく土國に對し治外法權を要求する事なくして同國に大使を派遣するに至るべく右につき土國は日本に感謝しつゝありと述べ且土國が强大なる「大日本」と公然の連結を保持せんとするに至れることを誇り將來「大日本」は艦隊の改造につき土耳其を援助すと論ず同紙は更に淸國のれける土國臣民の位置を日本の保護の下に置かん事を提議せり

▲極東防備の安心 露都近信に據れば西伯利亞ハバロフスクの地學協會支部より遠征隊を派遣し調査したる結果インペラートルスカヤ灣ハバロフスク間の鐵路は到底輜重を携帶する軍隊の通過し難きものなる事判明し露國極東の防備上非常の安慰を得たりとの報告露國參謀本部に達したり右は日露戰役中日本軍が烏港要塞の背面攻擊を爲す爲インペラートルスカヤ灣に上陸してハバロフスクを襲はんことを恐れたるが故なり

▲露淸境界の劃定 烏蘇里河の兩岸に亘れる領土の露淸何れに屬するや不明なりしもの久しく懸案たりしが今回交涉纏り西岸一帶を露領とし東岸を淸領とするに決し淸國皇帝の裁可を經たり

▲司法官年限法案 判官檢

▲銃器密輸入警告 孫逸仙一派革命黨が銃器三萬挺タイシエーニン（此間電文不明）内一万挺を暹羅に送り同地より更らに國境を超ゐて南淸に密輸入せんとの計畫發見されたる旨南京總督は北京外務部に向つて急電を發せり

雜報

●關税案遂に延期 輸入米增税に關する改正法律案反對に就て在韓日本人商業會議所聯合會にて戶叶書記長を上京せしめ極力反對運動を爲さしめしが該案は愈々貴族院委員會にて延期する事に決したる旨兒玉書記官及び戶叶書記長より左の通り聯合會事務所に電報あり

關税案貴族院委員會にて決議延期に決す委細兒玉書記官の電報により承知ありたし大勝利（廿三日午後七時一分着）

本日貴族院輸入米税引上の委員會に於て本件は問題の重大にして愼重の審議を要する事及政府に於て明年關税全部の改正あるべきにより其際同時に本問題を解決あるを便宜とすることの理由によりて本案の議決を延期することゝなれり（同日午后七時三十二分着兒玉書記官發）

●社倉規則の撤回 度支部より提出したる社倉規則は前回の參與官會議に於て其の主管其の他に關し議論ありて決定するに至らず更に昨日の參與官會議に審議したる結果今回の度支部案は撤回する事となり從來の地方財務監督局監督の下に現行の社還米規則に據り此れを勵行せしむる事に決定せりと云ふ

●統監歸任の一説 歸朝中の伊藤統監が再び歸任すべきや否やは目下一大疑問として内外各新聞に揭げられつゝある所なるが數日後道後溫泉に於て親しく統監に面談して渡韓せし人の談なりと云ふに據れば統監は相變らず元氣旺盛にして來る五六月頃には必ず韓國に歸任する筈なりと物語れりといふ一說として記す

●善隣商業學校卒業式 大倉喜七郎氏の寄附金によりて設立されたる善隣商業學校は本日午後二時より第一回卒業生四名第二回卒業生廿七名に對する卒業式を擧行したるが（第一回は昨年の卒業なるも式を擧行せざりしを以て本年併せ行ひたり）日韓官民生徒父兄其の他多數の來賓あり本宿校長擧式の旨を告げて卒業證書優等卒業賞品、精勤證並に賞品を授與したる後一場の告辭をなし、二三來賓の演說ありて卒業生總代答辯を述べて式を終りたるが今回卒業の優等生は四名なり而して本年の卒業生の就職先は略決定し日本に留學する者二名農工銀行に入る者拾五名第一銀行京城支店に入る者二名天一銀行一名三井物產會社一名未定六名にして昨年の卒業生四名は天一、韓一、農工の各銀行に一名宛本校の書記に一名就職せり尙日本人夜學生二十餘名に對する卒業式は廿八日午前十時より

擧行すと因みに本年の入學生募集五十名に對し本日迄に志願せるもの四百五十名あり本月末締切迄には五百名以上に達すべく來月一日より選拔試驗を行ふ筈なりと云ふ

●高等女學校の卒業式 京城民團立高等女學校第一回卒業證書授與式は昨日午前十時より同校講堂に於て擧行したるが卒業生十五名の內優等生三名一學年修業の者二十五名、二學年修業の者三十七名三學年同二十二名にして一同着席するや三浦校長先づ擧式の旨を告げ次で君が代の合唱勅語捧讀ありて、再び校長の學事報告あり夫れより卒業生及修業生に證書を授與し終つて校長の告示及び三浦理事官林田民長代理の訓示演說、生徒總代佐々木藁子の答辭ありて式を了へ之れより附屬幼稚園の育兒三十三名に對する保育證書授與式を擧行したるが三浦院長椒母の訓戒及生徒總代小林文子の答辭ありて全く式を了へ同校庭前に於て記念の撮影を爲したりと

●開城人蔘の病菌發見 韓國唯一の特產とせる人蔘の中にては開城に產出するもの其價格最も高く總收穫高五萬斤もありて此價額二百萬圓以上にも及ぶ程なりしに近年腐蝕するもの多くして收穫額も年々減少し來り昨年の如きは僅々四千斤に過ぎざりしかば農科大學三宅理學博士が調査したるに全く病菌と害蟲の驅除を等閑にしたりし結果なる事を發見したるを以て近日耕地の土壤を深く鋤返して日光に晒し多年侵染せるバクテリアと害蟲原ち壁虱の種子を根本的に驅除撲滅せしむる筈也と

●新入學者父兄へ注意 仁川小學校の新學期に入學すべき兒童に對しては民團より夫々通知を發し居れるが未だ居留届を出さざるものに對して何等通牒を出さざれば未届居留者にして學齡兒童あるものは今明日中其の手續きを履み兒童をして入學の期を逸せざらしむべしとなり

●漁業税金の徵收方法 旣報の如く來る四月一日より施行せらるべき漁業税法は免許漁業に於て漁獲高百分の一、許可漁業に於て五圓以上百五十圓、屆出漁業に於て五十錢以上四圓なるが此税金は通漁者の如く居所の一定せざる者には納税代理人として水產組合之れに任ずる筈

●乾元節と文武官謁見 今廿五日は韓皇の乾元節なるを以て曾禰副統監以下日韓文武高等官一同は午前十一時より參內皇帝に謁見の上御祝辭を申上げ終て勅任官以上には御陪食を賜はり午後八時三十分より宮中に於て大夜會を催さる筈

●韓皇の德壽宮御訪問 韓皇には韓后同列にて二十七日午前十時三十分御出門德壽宮へ親幸午後四時還御相成るべき旨昨日仰出だされたりと云ふ

●皇室債處分發表延期 皇室債務の處分は本月末日頃又は來月初頃には發表すべき豫定なりしが其の筋にては

都合に依り其の發表を一時延期したりと

●土地整理に關し會議 度支部國有財產整理局にては各地方なる測量課出張支部の主任を招集して昨日より向ふ一週間土地整理に關する會議を開催せり

●皇室債務覆審査開催 臨時財產整理局に於ては皇室債務覆審の爲一昨日より昨日に引續て審查會を開きたり

●地方官の資格審查會 各觀察使より推薦したる郡守候補者は十數名に及びたるを以て近々資格審查を爲す筈

●米價と驛屯土 昨紙所報の當局者談によれば東拓引受の驛屯土は一段步より米一石を產出するとし小作人と地主と二分し地主の收益米五斗を（一時價一石八圓の割）四圓と見て算出したるものゝ由なるも本社が東拓會社井上理事に就て聞きしところによれば東拓調查課の調查したる地方の米價は一石二圓以上三圓までなりとの事なり當局者の言はれたる一石八圓は乃ち產出地の相場にはあらずして開港地若しくは都會の相場なり

●江華島の天壇視察 仁川觀測所の和田、平田兩理學士は今回農商工部大臣の命に依り江華島摩尼山頂（千五百五十尺）に在りと傳稱せらるゝ四千年前の天壇を研究すべく寫眞器測量器等を携へて登山する由なるが其の機會を利用して同島の探見を試みんとて京城控訴院の城法學士電氣會社の小川工學士、建築所の藤宮工學士其の他京仁間の紳士十餘名來る廿六日早朝仁川を出發する由右に付き仁川署より官舘警視に武裝巡查數名を附し出張す

●新聞記者團の送迎會 二十三日午後七時より京城新聞記者團の催しに係る頭本（元ソウルプレス社長）大村（元大坂朝日特派員）兩氏の送別山縣（新ソウルプレス社長）山本（新大坂朝日新聞特派員）兩氏の歡迎は當地花月樓に於て開かれたるが出席者は二十餘名にして先づ大岡京城日報社長は歡送迎の辭を述べ次で頭本、大村兩氏の告別の辭及山縣、山本兩氏の挨拶ありて其れより宴に移りたるが席上同樓藝妓の手踊其他の餘興ありて頗る盛會也き

●橫濱商業學生の行商 橫濱商業學校教諭吉常吉氏は一昨日生徒二名を引率し商業實地研究の爲め西洋雜貨品を携帶して當地に來り旭町東海旅館に滯在して日々行商を爲し居れるが四五日間の後仁川に至り其れより歸校する筈なりと

●仁川安東間の初航船 仁川安東縣間航路の初航船滿州丸は昨日午前中仁川に入港し午後四時仁川を出帆して龍岩浦を經て安東縣に向ひたりと云ふ

●露國上院議員の來韓 露國貴族院議員グレースメッ氏は主人同伴二十二日大連を出發仁川を經て二十四日入京京城視察をなしたる上日本に向ふ筈なり

●三宅博士の開城行き 度支部より人蔘病源調查の囑託を受けたる東京帝國大學教授三宅理學博士は二十二日夜入京して天眞樓に投宿し二十四日朝十一時二十分發開城に向ひたるが二三日後歸京する筈なりといふ

●三月中旬の外國貿易 本月中旬輸出入の比較表左の如し

區別	本年本旬分	前年同期
輸出品價	一、〇三一、八七九圓	三一三、六〇八圓
輸入品價	一、一七三、八八九	八〇三、五五五
合計	二、二〇五、七六八	一、一一七、一六三

●仁川三銀行本日休業 仁川の三銀行は今二十五日乾元節に相當するを以て何れも休業する筈なりといふ

●天壇研究に就て 別項記載の和田氏等一行の探見せんと欲する江華島の天壇とは世に所謂塹城壇にして東國輿地勝覽に依れば地壇は摩尼山頂にありて石を累て之を築き壇の高さ十尺、上は方形下は圓形にして上の四面は各七尺六寸下圓は各十五尺なり世に壇君天を祭るの處と傳ふ

●島根中學生來韓 仁川民團に着せる通報に由れば島根縣立松江中學校生徒五十名は修學旅行のため來る二十九日京城に着し二日間滯在して來月一日仁川に至り一泊の上再び歸京し夫より鐵路歸校する筈なり

●義生盛の新築祝 淸商義生盛號は當地南大門通りに宏大なる店舖新築中の處、今般落成せしを以て明日午后六時より新築家屋に於て在京諸外國人の紳士紳商を招き盛大なる落成祝賀會を催す筈なりと云へり

●拓殖重役の歸任 三南地方の驛屯土調查の爲め出張中の林拓殖會社理事は今二十五日夜に又西韓地方に出張中の吉原副總裁は二十七日頃に歸社する筈なりと云へり

●臨時郵船の着發 仁川橫濱大連間の臨時郵船新潟丸は一昨日仁川に入港したるが本日仁川を出航し大連に向ふ筈

●鐵道運輸係會議 鐵道管理局平壤、草梁龍山の三出張所運輸係は廿四日管理局内に於て運輸事務に關し引續き會議をなせり

●日語學校の改稱 官立平壤日語學校は來る四月一日より組織を變更し官立平壤高等學校と改稱の旨廿二日學部より告示あり

●地方費法の制定 屢々報道したる地方費法は一昨二十三日の參與官會議に於て愈々決定したる由なれば不日發表せらるゝ筈

●永田巡視官出張 内部警務局巡視官警視永田壽太郎氏は暴徒狀況視察の爲二週間の豫定にて廿五日出發全羅南北兩道に出張

●富田民長の寄附 仁川小學校、高等女學校、幼稚園の卒業式經費の中に富田同民長より金若干圓宛を寄附なしたりと云ふ

●鴨綠江航通中止 鴨綠江流氷の爲め日下渡航危險に付約十日位は航通を中止すと

●乾元節と諸官衙 今二十五日は乾元節なるを以て韓國側各諸官公衙は休業する筈

●李俊鎔氏の寄附 永宣郡李俊鎔氏は中部寺洞演興社へ金七百圓を寄附したりと

●足立中佐の歸任 軍司令部高級副官足立中佐は南韓地方視察中の處廿三日歸任せり

●露國領事の入京 釜山露國領事代理ツルケウイツク氏は二十四日入京したりと

●羅書記官の歸任 文川郡暴徒地視察中なりし羅書記官權松主事一行は一昨夜歸京

●富田民長の出勤 富田仁川民長は過日來病氣引籠中の處全く平癒し本日より出勤

公人私人

▲大木安之助（平安道書記官）廿三日歸任
▲三增久米吉（馬山理事官）二十三日馬山より入京し巴城館に投宿したり
▲小原省三郎（大藏省技師）同上
▲白石五佐久（陸軍三等主計正）山本旅館
▲樋北讓太郎（石川縣汽船業）同上巴城館
▲外信一（同上）同上

近事片々

▲宮相 閔氏一進會副長洪氏を迎へて曰く貴會勢力減退の爲に盲動する勿れと諭せりと
▲更に 宋秉畯の歸城を待て計る所あれと懇諭すとは事實なる乎其間何の意味ありや
▲若し 事實とすれば宮相として聊か穩かならずと云ふ然も宮相は政治に關する勿れ
▲李完 用君近來得意の色ありといふ何が爲に得色あるか內閣の位置鞏固になりし乎
▲若し 夫れ完用君にして宮相閔氏を藉て一進會を慰撫せしむる如きは甚だ陋舉也
▲世評 は頻に一進會が完用內閣の秘密を握る居ると云ふ其矢先に小刀細工は甚だ非
▲伊公 にして統監の印綬を解かざる限りは完用內閣は先づ無事ならんと儲も實加也
▲曾禰 副統監が今何等か英斷を下すべしとの說ありしも矢張りホンの噂のみ也と
▲副統 監は例により留守を預るに過ぎざる乎儲々賴み少き世の中なり鬼が穴賢々々
▲如何 に在留邦人が氣を揉むも祖國々民が焦るも肝腎の當局者が呑氣にては夕メ也
▲統監 政治の質問に對する桂首相の答辯演說は未だなし隨分緩慢なる仕打にぞある
▲敢て 緩慢なるに非ず政府の對韓方針動搖ある爲に非ざるか移民問題の如き則是也
▲外相 の宣言を實にせんとすれば伊公の政策と矛盾す桂首相此間の苦心は察すべし
▲對米 問題を圓滑にせんとし滿韓移民集注を宣す兎角一時の政略は甚だ懷れ易し矣
▲英獨 海軍競爭は一世の注意を惹くに至れり之が爲に統一黨は大に氣焔を擧げ來る
▲英宰 相ア氏は英國海軍を優勢なる二國の海軍力を標準とせんと大に力味む甚好矣
▲獨逸 海軍の擴張は大に注目するに足る英獨二國の競爭は到底近き將來に避け難し
▲久さ しき懸案問題たりし露淸境界問題は此頃漸く解決を告げたり先づ結構の事也
▲烏蘇 里河の西岸は露領とし東岸を淸領として落着し淸國皇帝の裁可をも經たりと

▲鐵道職員改正

[illegible]議院に於て新鐵道職員特別任用令改正の件外一件を可決したり

[illegible]下院は上院の修正に同意せず協議會を開[illegible]

●解氷後の鎭南浦景況

解氷後の鎭南浦は意外にも諸方より移住す[illegible]ある爲め移住者多きならんと

●文川郡地方飢饉狀況

[illegible]如き慘狀にあらずして時に水害を蒙りたる地方と雖も尚は過般來の義捐金にて生産救助[illegible]韓人の燒酎則ち燒酎の醸造時期にて其の原料たる小麥は小額ながら自然多少の需要あ[illegible]平壤現在の品を以てしては十俵に足らざる有樣なるため直段非常に騰貴し裸麥四圓二十錢白米九圓なるに小麥は七圓七十錢の相場七圓七十錢なるに卸賣なれば五錢の口錢八錢の升入手數料とを要するにより七圓八十三錢の相場なりと云へり

京城居留民團公文

●京城居留民團規則第八號

明治四十年京城居留民團規則第十五號京城居留民團立漢城病院附屬靑坡病院及新町健康診斷所諸料金徴收規則中左ノ通改正明治四十二年四月一日ヨリ施行ノ件居留民團會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十二年三月二十二日　京城居留民團民長　熊谷頼太郎

第二條　諸料金ノ額ヲ定ムルコト左ノ如シ

靑坡病院

入院料	一等	一日	金三圓
同	二等	一日	金二圓
同	三等	一日	金一圓
處方箋	一通		金一圓

新町健康診斷所

新町健康診斷所諸料金ノ額ハ適用シ得ヘキモノハ總テ京城居留民團立漢城病院ノ規定ニ據ル

第三條「藥價治療料診斷書料」ヲ「其他ノ諸料金」ニ改ム

●京城居留民團規則第九號

明治四十年京城居留民團規則第二號京城居留民團授業料及保育料徴收規則中左ノ通改正明治四十二年四月一日ヨリ施行ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十二年三月二十二日

京城居留民團民長　熊谷頼太郎

尋常科生徒ハ一箇月一人金四十錢

高等科生徒ハ一箇月一人金八十錢

一家二人以上就學スル場合ハ其最高學年兒童一名ノ授業料ヲ全額トシ他ヲ半額トス

幼稚園幼兒童ハ一箇月金一圓



●漂浪兒の懺悔

吾れに一人の友あり假りの名を豚馬と呼ぶ、性放縱にして不羈、江湖に放浪する事多年、今や漂然として釜山より來つて漢陽に入る、齎らし來る處のもの唯だ僅かに慘憺たる歴史あるのみ、いでや讀者と共にしばらく彼れが語るを聴かむ（鬘弦生）

（一）流離

散りはひし落葉樹の枝は玆にまた若やぎの新芽を芽ぐみて今や歡樂のかげ天地に充つ、此時に方り依然たる孤客の窮軀を携へて佇む吾れや豈に一滴の涙なからざらんや顧みれば花曇りの朧月夜、私そかに墳墓の地を辷り出でしより故郷に相疎きこと殆んど七年、渺たる彼の流水、たる彼の飛隼の如く、幼くとしては北に嘆じ、啾々としては西に泣き、好々として隣人の笑、草々として勞人の饑、又た更らに隱々乎、江戸川畔早稻田町の寓居侘びしければ杜鵑しば〳〵鳴きて夢結び難く、之はまた罪の成り易くて戸山ヶ原に煩悶をやる夜半もありけり、懷劍を秘めて微笑の行步吟、鎌倉の昔を偲びては蓬髪しばらく無頼の子たりき、或るは夫れ神戸の半星霜、簿記のペン執る踪を窃みて以橄欖の露に恍ひし伊太利亞の少女が腕をとりつゝ布引わたり夏日の短きを嘆ちたる時もありけり、鐵拐ヶ嶽、鵯越を跋渉しては一の谷の夕まぐれ、平家が夢の短かゝりしを思ひ、須磨寺の一夜を笛に明かしたる事もありけり、或るはまた滿韓境上の月、高句麗が跡を弔ふては旅順港の夕まぐれ、露軍の夢の果敢なきを笑ひ、さては大連埠頭の袂別に友と千年の後を契ひ、たりしもあはれや釜山港頭の寓居は浪いたくも荒れて住むによしなく、加ふるに一度び受けし罪の問へは、月にも消えず、詩にも亡びず、心惕として安からざれば今は遂ひに放浪の子は風のまに〳〵漢陽へこそ入りたるなり、聞けよ友、吾が過去最近の放浪史は慨ね上に述ぶるが如し、いでや之れより更らに精しく慘憺たる歴史の跡を顧みんかな

●走馬燈の夫婦（五）

▲初めは横濱▲中は樺太▲終りは朝鮮▲女房は女郎上り▲夫は在郷軍人▼

三樹屋に潜り込んだるマリヤも初音よりの嚴しき談判に堪へ兼てにや又もや**初音**に**舞ひ戻り**、現に白粉紅粉に身をやつし同樓切つての**呼物**となり居れり、一方勝善は相變らず報知支局の記者を爲しいと熱心に働き居れりとか、元來此の勝善は富豪の家庭に人と爲り所謂ボンチ育ちで其の廓馴れぬ甘き處を附け入りたるマリヤは一旦身受の後一度び勝善の**郷里へ趣**き其**富有**なる家庭を見屆けし者からダニの喰下りたるが如く飽迄勝善に**附纏**ひてイッカナ離れず人良しの勝善は優柔不斷にして遂に之れを思切る事出來ず、兩親には勘當まで受け横濱から樺太迄には此朝鮮まだ經廻り來て一方ならぬ**他人**の**厄介**となり、一配達夫とまで成り下がつて尚ほ且つ一婦人の色香に戀々たるとは到底十人並の中間入りすら出來ざる男なるが、一昨日自分は其本人なりとて一葉の**端書を本社に送**り自分等と共に墮落せるの人に對し好個の訓戒なれは稿を續けて掲載し呉れよとの意味にて申込みたるが、彼れ果して悔悟の念あるものとせば速かに本性に立ち歸り父母に孝養を盡すを急務なれ（れはり）

●自殺機關の增殖

狂兒藤村操、華嚴瀑上の巖頭に立つて人生不可解を絶叫するや今更の如く若き老翁や老ひたる小兒やオッチョコチョイの學者達は遽かに死に神に取り付かれ車を曳いても生きて居らるる世を汽車に轢かれて冥度に旅び立つやら湯屋の釜前をしても裸体美人の曲線美に酔うを得る世を火に寄る虫の恐を學びて阿蘇や淺間の噴火口に下駄を脱いで飛び込む程の分別はありながら無分別なる燒死沙汰、いづれは自暴から出たことなるべけれどこれは又此頃は十二階から飛び降りると云ふ珍手を發明し結果良好なる樣ればイッツ死んだがれ互ひの利益ならんも警察官や新聞記者は何れも飛んだ迷惑なり京城にだとて明治町の教會堂の頂天をかし横眼に睨んで昇られぬを悔しがつてる人もあるべしと思へは可笑い樣で笑はれもせぬ事なり（む）

●仁川花柳便り

さしもの一山も本城沒落の運命に陷り敷島の砦に立籠りて再舉を畫しつゝあり、近々城明渡しの上歌舞伎座前の元支店を再興可致よし何んぼう憐れなる話ならずや琴代、一駒、駒助、駒蝶の四名は浪々の身となりてより粹客の同情をひき日々花見雛の坐敷に忙殺せられつゝありさは何より結構と申すべし琴代は築地の老紳士と言ふ後楯があること故鯨船が着いたような元氣で一向無頓着でがんすとは振つたもの也り一駒は本年の五月頃年明けとなること故やゝ兒を連れて神戸の古巣に立歸る準備をなしつゝありとか其前に一目淸津の人にあひたいとは御尤も駒助は過日雀子の通信によれば築地の老紳が千圓だして近日落籍し手活けの花となす云々とあれどそれは大なる間違にて駒助と仁川の某元老との關係は人も知つたる間柄なれど妻君が一方ならぬ客氣に元老も板挾となりて立往生の姿氣の毒なりと元老と入懇なる築地の老紳士が粹を利かして數月以前駒助の身の代金千圓を一山の帳場に投げ出して自前とし當分保護預けとし折を見て見越しの松に船板塀の住ひを當てがわるゝよし此頃にては妻君も悟道徹底して默認とやらを極め込まれ元老どの萬歳の聲高し駒蝶は不相變元氣にて盛んに自然主義を振舞つゝありとの事只憾らむらくは老人の客ばかりでつく〳〵情けないと嘆聲を洩らし居り候▲一富士にて惚氣の大關が淸次と君の助、横綱が富美子で勸進元が福の助なりとの事其對手は雀子の通信どほりなれど君の助の命もやりたい人は龍山の米チャンで本年の十月を兩人共一日千秋の思ひで待ち焦れて居るソマトーゼは龍山送りて築地行きではないとの事故愛に正誤す、小富士の海岸一勇の山の手之れは又よき對照にて何れも笑くぼの鈴なり若いハイカラより此方が親切で賣入りがよいから好きやわとは年に似合はぬ感心な事に御座候（つばめ）

●驛夫の轢死

仁川驛驛夫熊本縣生れ原直二郎（二九）と云ふが一昨日同停車場に午後〇時三拾分の列車が着せんとしたれば機關連結の爲め同列車にて仕事に從事したる際第二十一號機關の進行し來るに氣付かず他の驛夫がアレヨ〳〵と危險を叫ぶ間もあらばこそ同機關車に轢き倒され哀れ無慘や直二郎は轢死を遂げたれば仁川警察署よりは直に警官を派し檢死をなしたる上屍体を驛長に引き渡したり

●三越の緞帳寄贈

京城三越呉服部支店は今回當地長唄嗜好會に對し美麗なる緞帳一張を寄贈したるが同緞帳は東京三越本店に於て調製したるものなる由絢爛たる緋繻子の表に贈長唄嗜好會の文字を黒繻子にて現はしその縁を金糸もて縫ひ取りたるなど頗る精巧を極めたる緞帳にて其美其麗殆んど人目を眩せんとするばかりなり因に長唄嗜好會に於ては大いに三越の好意を喜びつゝありといふ

●奇特な人

仁川宮町居住人力車輓子小御門彌七（三〇）と云ふは一昨夜同町榮亭の前にて六歳許りの迷子を拾ひ警察に屆けたる上自分が獨り者なるに拘はらず自宅に連れ歸り親を搜し遣り居れりとは近來聞いたことのない逸話なり

●演藝●

[illegible]は當地に開演して非常の大好評を博したる與劇合同團三輪一行は其後仁川に於て開演中なりしが今回再び當地に引返へし本日より壽座に於て開演するに付本日は初日なるを以て出場棧敷を除くの外は三十錢均一なりといへば定めて大入を占むる事なるべく尚は本日の藝題は廣津柳浪原作大阪朝日新聞掲載の『松山嵐』全十幕にして其場割及重なる役割は左の如し

場割　（一）房州木の根山中（二）同奥山木挽小屋（三）待合誰が袖門前（四）品川停車場（五）宮山下一本松（六）松庭の前（七）金輪鼎の住居（八）老僕太作の家（九）女學校々長室（十）田中庚申塚（十一）再び金輪鼎家（十二）松山家離座敷（大詰）蛇窪道大飛雪

役割　金輪鼎（西）太作娘た花（平野）久子實弟千代太郎（池田）松山家老僕太作（稻葉）職工長伊十松（日東）金輪妻安子、女學生村上はつ子（奥村）夫人久子（上田）代議士田村平十郎（伊東）金輪子息辰雄（篠原）職工場主松山國重（三輪）

●京城の看護婦會

記事輻輳に付き本日休載

◀平民文庫▶

▲吳服類は三越西洋食料品は明治屋菓子類は風月との評は動かすべからずとして此れ以外日常家庭に最も關係深き普通食料品（八百屋物）を商ふ店は何處が一番確實でせうか親切な投書家諸君の教示を望む（永樂婆）▲妻には許嫁があるのですものと噎何たる苦痛の叫びぞ人は斯くて心の上の戀にのみ滿足して永久に失戀の淵に陷らざる事を得べきや否や（非ロマン派）▲大韓日報の狩獵大會には我輩一番腕を見せるぞ聞き玉へ此の通り腕が唸つてる……ブンブン……何うだ聞ゑる所か眼にも見へるだらふ（鴨綠江戰士の一人）▲君達の樣な馬鹿には論は無益だ下駄屋の娘さんを中傷する精探子以下の雜輩共男らしく腕力で雌雄を決する勇氣はないか有らば時日と場所を當欄迄知らせよ（俠客）▲大坂毎日社の主催に係るマラソン大競爭に於ける第一等の月桂冠は我が金子長之助氏の手に歸した余は欣喜の情に堪ねませぬ（岡山縣人）▲模範店員募集は善い思付きである正直者の奬勵ともなる大に聲援する必要がある（小商人）▲男が女郎買や藝妓買をするのは公然の秘密であつて見れば女の姦通も秘密として許してやつてもよい併し斯う云つたら『男の女郎買は姦通ぢやない』と云ふだらうさらば一つ男郎屋を公許したら斯う云ふ理屈が出て來る即ち『男郎買ひは姦通ちやない』と、僕は旦那の放蕩の爲めに空閨に紅涙を絞る奥樣連の爲めに男郎屋の公設を希望する是れ獨て家庭の平和を保つ一手段たるを信ずる（社會主義者）▲太平洞人君の酌婦檢梅勵行説に大賛成だ（旭町住人）▲南大門驛前のエーテーの女中さんは嫁に行けるのですか（獨身者）▲笑中涙あり、戲言の中自ら箴となすべきものあり、腕を扼し齒を切ばるもののみ豈に慨世家ならんやだ（よきぎ）▲魚遊痴史さんの三面情歌が待ち遠うだ（待遠生）

●天氣豫報（自廿四日午後六時 至廿五日午後六時）

南西風曇後晴

廿三日　最高溫度（華氏）四六、〇　最低溫度　二八、八

本日午前六時韓國氣象概況　昨朝東海にありし低氣壓は今朝日本海北部にあり各地共西風烈しく北部は雨天其他は晴曇相半せり　廿四日午後二時解警戒

廣告

廣告

一木炭外壹種

右ハ本月廿七日競爭入札ヲ以テ賜買ス詳細ハ本月廿三日官報ヲ熟覽セラルヘシ

隆熙三年三月廿五日　警視廳

開店五週年に付大賣出し

謹啓陳者時下陽春の候各位益々御淸榮奉大賀候降て弊店儀開店以來玆に五ヶ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め三月廿五日より四月廿四日迄滿一ヶ月間二割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候



美術書畫

襖、壁、天井張

京城壽町一丁目　桂萬吉

京城南山町一丁目山手
辯護士　皆川廣濟　電話八五七番

京城廣通橋東南川邊
皆川法律事務所　電話六九七番

診察所　京城理事廳前電話八八〇番
池田內科小兒科醫院
療養所　旭町二丁目白耳義領事館隣（元伊國領事カサテ氏跡）
統監府通信管理局囑託醫學得業士前漢城病院内科主任
池田季雄

越　越

春季大賣出

來る四月一日より五日間寄裂及び見切反物をも澤山取揃ゑ御覽に入れ候間何卒不拘多少御用命被成下候樣伏而奉願上候

三月

京城本町二丁目

越　三越吳服店出張所

電話三五二番

▲無料紹介欄▼

求職 英和漢文の書記 ... 伊藤
下女に被雇度 性温順年廿歳 成る可く子供無き家庭を望む
呼よ電話譲渡 物件部
貸地 京城 ... 清韓洋行
電話譲渡したし 本町一丁目 小川勝平事務所
電話譲受けたし 小川勝平事務所
廣告

醇良 清酒 澤龜 大阪府堺市 宅合名會社釀

配達人 神田昇一
右之者今般解雇致候に付自今當店に一切關係無之候也
右廣告候也 荒井牧場

肴 四品 金一圓
ビール一本
頗るハイカラの酌婦付
明治町二丁目 富士村小店横入
島 敷

諸傘 並に提灯類 印入
和洋蠟燭あり
京城明治町一丁目 大島商店

新無煙炭 用燃料
無烟煉炭
特色 火力强く永く耐久價格低廉
用途 家庭、暖爐、爐用に適す
周防德山海軍省煉炭所東隣
谷口無烟煉炭工場
京城總代理店 京城南大門通 巴商會 電話六〇三番

一塊炭 官營無煙炭大々的直下
一噸(十二俵) 九圓九十錢
一切込炭 一噸(十二俵) 八圓五十錢
但驛渡し
準據官營無煙炭特許一手販賣人
南大門外古市町香坂道
苦米地造酒彌

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委托販賣
東京 ランバーダ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
山鹽販賣合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社 出張所

各學校御用品調達
●土耳古煙草直輸入大販賣●
本社ハトルコ最大貴製造會社ニシテ其製品ハ原料精選其風味ハ良好無比ナレバ夙ニ世界各國ニ最多ノ輸出チナシ好評チ以テ迎ヘラレツ、アリ卸小賣モ廉價ニ販賣仕候
京城本町二丁目角 デーエス、パヂリス會社出張所
仁川港本町通 仁川代理店 穎 兄弟商會

新着 芳醇無比 ★ 札幌ビール 荷到着
各特約店並に各販賣所にて賣出候間御用被仰附度候

診療開始
弊院儀さきに類燒の災に罹り休業中の處這般南山町二丁目植村病院全部を讓受け三月一日より診療開始仕候
南山町二丁目植村病院跡
電話六七五番 松岡醫院

石炭直輸入卸小賣
●精撰塊炭●上等塊炭(海軍御用炭)
●荒塊炭●切込炭(鐵道御用炭)
弊店の石炭は自己炭鑛よりの直輸入なると以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候間續々御用命被下度
目下多量之貯炭有之候
奉願候
赤阪口福井炭坑營業部
韓國京城南大門西側
合名會社 範多商會韓國代理店
大阪鐵工所韓國代理店
合資會社 長醫商會韓國出張所
電話長(八二九番)

英語教授 會員募集
毎日午後六時より九時まで
龍山京町八番地 巴商店内
元陸軍教授 宮崎篤次郎
龍山英語學會

▲清潔の下宿 ▲懇切の下宿
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間御販々數御投宿の程御願申上候
壽町一丁目十番戸横小路
(元花屋跡) かめ屋

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ二間迄其他各種材
京城旭町二丁目
建築業 柴田芝六 電話五八八番

高等 待合 紅葉
京城南大門通三丁目 起業會社筋向
四圍頗る閑雅にして清遊に適し候

登記 漢城府手續 諸願届 代書 民役所前
土地鑛山測量 取立 代辦
家屋貸借 其他一切仲介
京城本町一丁目 岡田事務所 電話七〇五番

西洋料理 東京高輪壽し
會席料理 丼類いろ〳〵
折詰辨當
同 サンドーウヰッチ
南大門停車場構内
エーテー淵田 電話六七番

焦心舉志多年研究 ... 三一館

會席御料理 本町八丁目 富士見樓

精良石油賣出廣告
光力强度鮮明なり 容器充滿なり 容器美麗堅固なり 無色透明なり 臭氣極少なり
旗票石油は
ライジングサン石油株式會社
韓國出張所
仁川英油組合
釜山英油組合
京城英油組合
特約販賣店 仁川本町四丁目 仁川海岸通二丁目 釜山本町二丁目 京城本町三丁目

東京火災保險會社
明治廿年創立 資本金一千萬圓
代辨店 山口呉服店 事務所 京城本町二の三 電話九番
日本國火災保險業の嚆矢

學理應用 最新術式 催眠及無催眠治療
頭痛、吃音、喘息、胃腸病、不姙症、脚氣、淋病
氣鬱症、耳鳴、黄疸、生殖神經病、ヒステリー
神經痛、齒痛、子宮病、神經衰弱、腦病、肩ノ凝
肺病、月經矯正、便秘、アルコール中毒、眩暈
胃腸病、心臟病、脊髓病、寢小便、リウマチス
トラホーム、結膜炎、鳥目、近視
京城若草町一丁目八十七番戸の七
弘濟療院
(若草町一丁目藤田雑貨店東へ入る二新日出國座横井戸 西へ入る第二番目)

純良 乳
京城大和町一丁目
元祖 牛乳 平山牧場 電話百三十三番

特約販賣 自製
大 命 薫
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
和洋酒、精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候
大上商店 (電話二五一番)

待合 去花 京城南山町 電話 院前番

訟 所用にて旅行中の處歸宅致し候
辯護士 岩田仙宗
明治町貳丁目七十五番戸 電話三五四番
神田組

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通 株式會社 十八銀行 京城支店 (電話四二〇)
本店 長崎市 支店 釜山 仁川 木浦 大阪 熊本 佐世保 鎮南浦 ...

韓國 日本 其他日本韓國樞要地及露領浦鹽其爲替取引先あり
貯蓄預金 長崎貯蓄銀行代理店

洋 純 牛乳 良 京城南大門外 ... 牧場

日本郵船會社 瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番
大連行(船客)
新瀉丸 三月 日正午時
釜山長崎門司神戸 大連行
山東丸 四月 十一日後三時
大連、大沽、牛莊行
高砂丸 三月 日正午
大連、大沽、牛莊行
酒田丸 三月 三十日前五時
大連行
山東丸 四月 八日正午
立神丸 三月 日午後
大連、芝罘、天津、浦鹽行
...
發行所 京城新報社